



厚別区シンボルマーク



あつべつ

2009年10月号

	9月1日現在 ()は前月比
厚別区の人	口 129,117人 (-59)
人口・世帯数	男 59,647人 (-49)
	女 69,470人 (-10)
	世帯数 55,065世帯 (-2)

厚別区総務企画課広聴係
 〒004-8612
 厚別区厚別中央1条5丁目
 TEL 895-2400 内線224~226
 FAX 895-2403

厚別区民のページ

人生を捧げた「音楽」を広めたい



新さっぽろふれあい音楽祭（2月21日）で司会を務めました【写真左から2人目】

厚別人

書／映画監督 菅原浩志

もみじ台在住の竹津宜男さんは、十一月に行われる「あつべつ区民音楽祭」の総合音楽プロデューサーです。札幌交響楽団創立時の楽団員で、事務局長も務めた竹津さんは、音楽を通じて札幌のまちづくりの一役を担ってききました。

音楽のまちづくり

高校時代はオーケストラ部でホルンを演奏していた竹津さんですが、卒業と同時に音楽をやめて医学部に進学したそうです。しかし、下宿先にあったバイオリンを弾いているうちに音楽への情熱に再び火が付き、音楽科に転向。「以来、人生のすべてを音楽に捧げている」と話します。

「人は街、街はアート、アートは人をつくる。この三つは切り離せません」と語る竹津さん。札幌オーリンピック開催で街並みが整備され便利になったものの何か物足りなさを感じ、「もっと人が集う魅力のある街にしたい。それが人や文化を盛り上げる」と演奏以外の活動にも積極的に参加してきました。

音楽に親しめる環境づくり

厚別区役所などが地域で開催する音楽祭にもプロデューサーとして参加している竹津さんは「どんなに素晴らしい音楽も聴衆がいないと成り立ちません。生の演奏に触れる機会を増やし、広めていきたい。厚別

区で、みんなで音楽を聴いて、仲良くなれるイベントを行いたいですね」と語ります。竹津さんは、これからも、後進のサポートと市民が音楽に親しめる環境づくりに力を注ぎます。

※詳細は厚別7ページ

NPO法人北海道国際音楽交流協会 (HIMES) 副理事長

竹津 宜男

Profile (プロフィール)

たけつ・よしお

演奏旅行で訪れた札幌が好きになり、翌年、札幌交響楽団創立楽団員に（ホルン奏者）。国際教育音楽祭であるPMFに開催当初から携わり、現在はHIMESで北海道ゆかりの若手音楽家の海外留学のサポートなどを行う。厚別区在住。74歳。

